

雲仙岳

1 火山活動度レベル

火山活動度レベルは 1 (静穏な火山活動)でした。

2 概況

火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

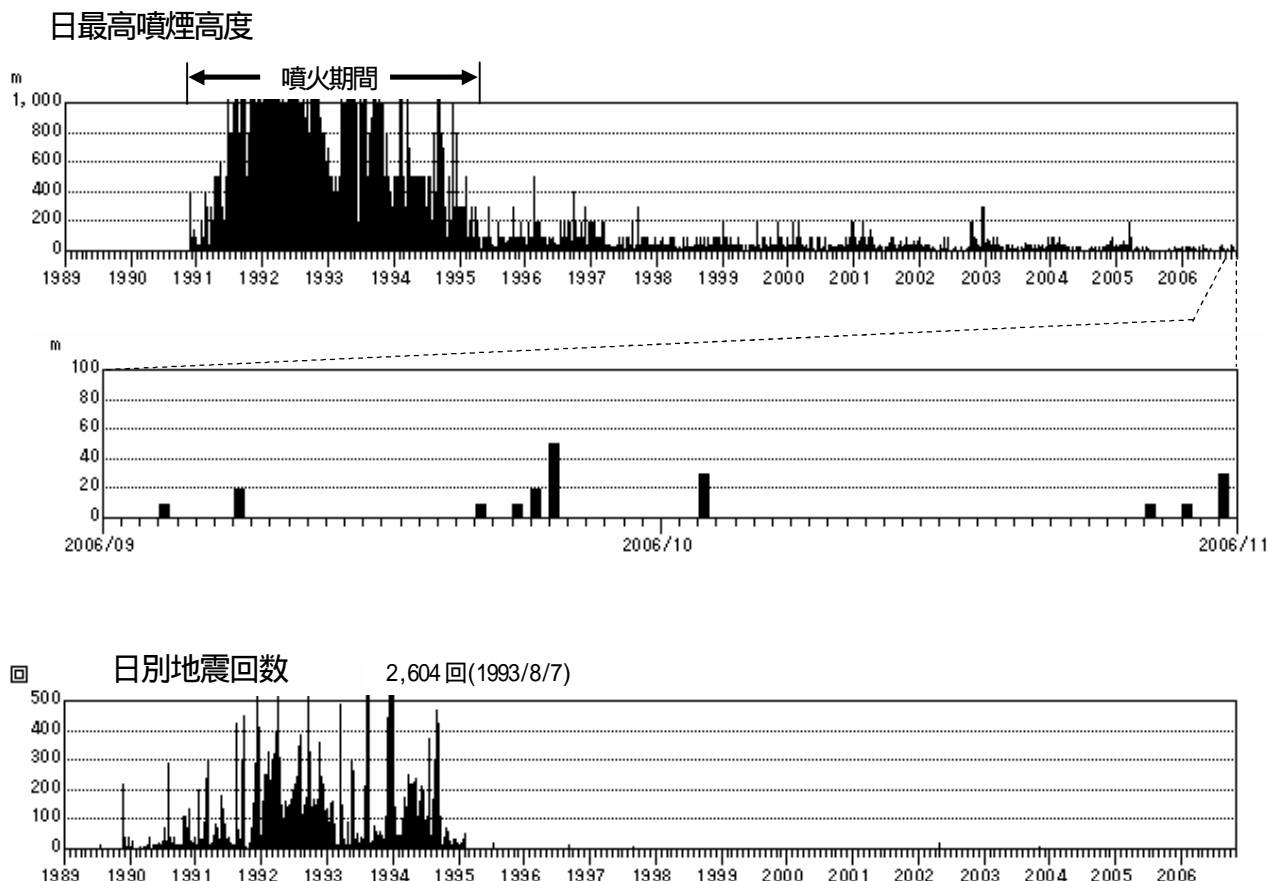


図1 火山活動経過図(1989年1月～2006年10月)

火山性地震及び火山性微動は観測されませんでした(ともに9月は0回)。

2006年10月の遠望観測で噴煙を時々観測し、高さの最高は30mで、引き続き静穏な状態で経過しました(9月：最高高度50m)。

資料の作成に当たっては、気象庁のデータの他、九州大学のデータを使用して作成しています。また、地図の作成に当たっては、国土地理院の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ(標高)』を使用しています(承認番号：平17総使、第503号)。また、同院発行の2万5千分の1の地形図を複製したものを使用しています(承認番号：平17総複、第650号)。

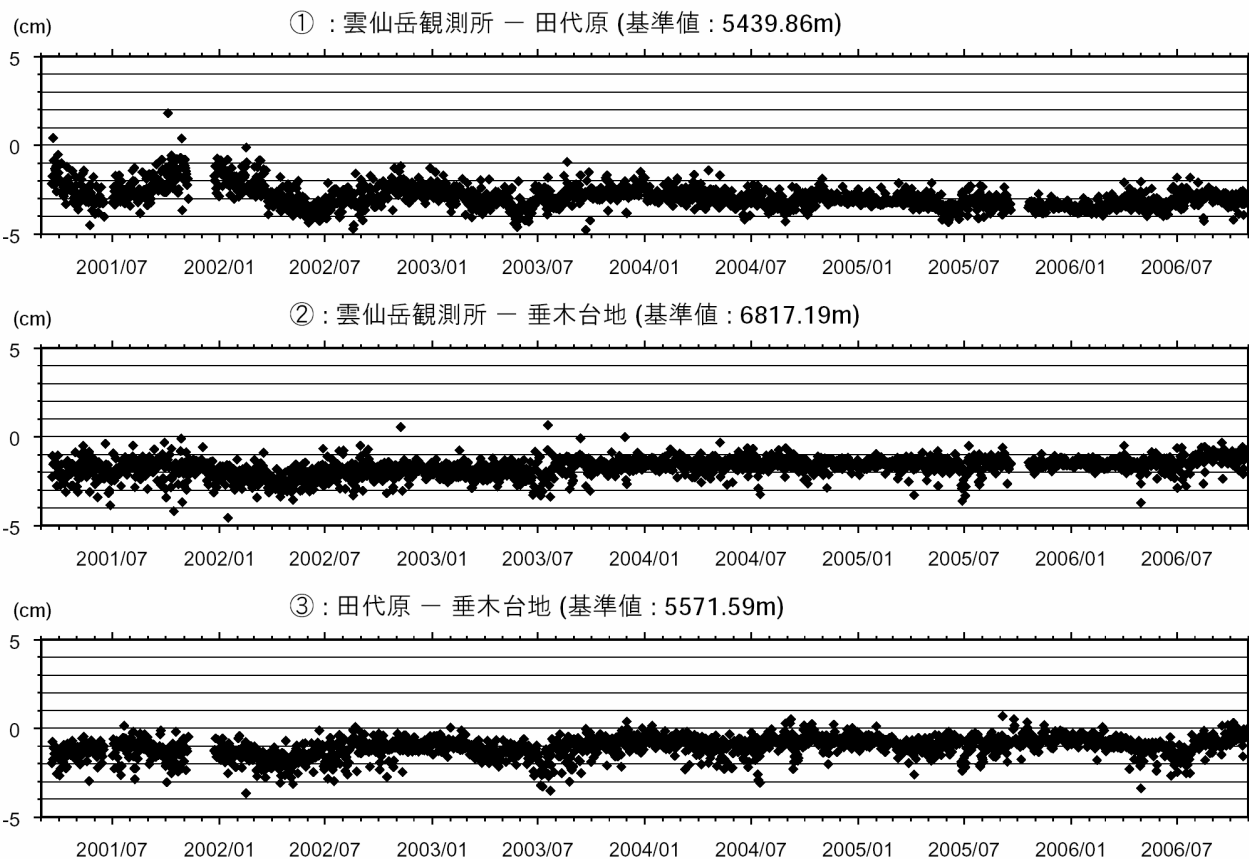


図2 GPSによる基線長変化(2001年3月20日~2006年10月31日)
火山活動に起因するとみられる変化はありませんでした。

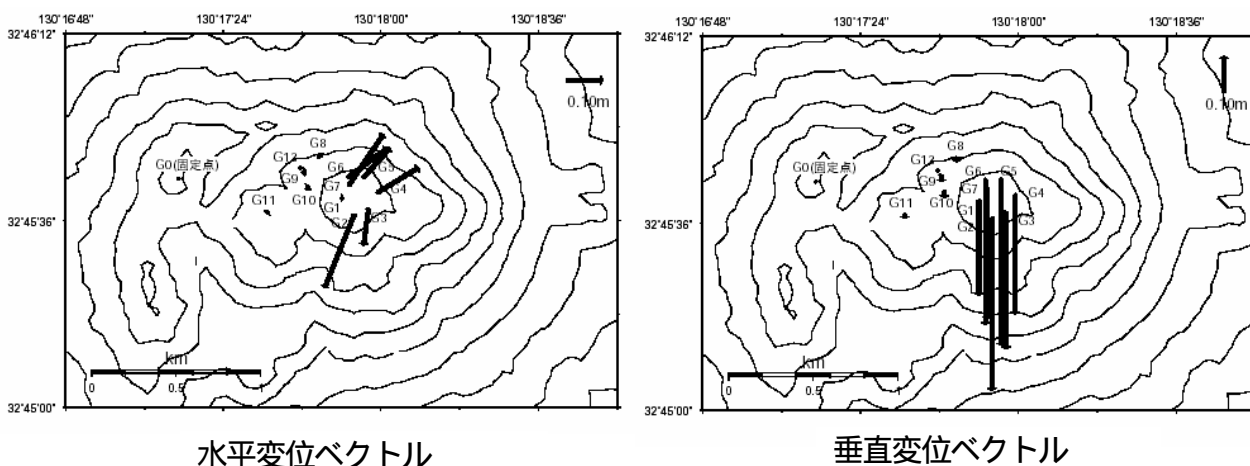


図3 GPS 繰返し観測によって得られた水平及び上下変位量 (2004年11月~2006年9月)
平成新山自体の自重により押し潰され、広がりながら沈降する変化が認められました。

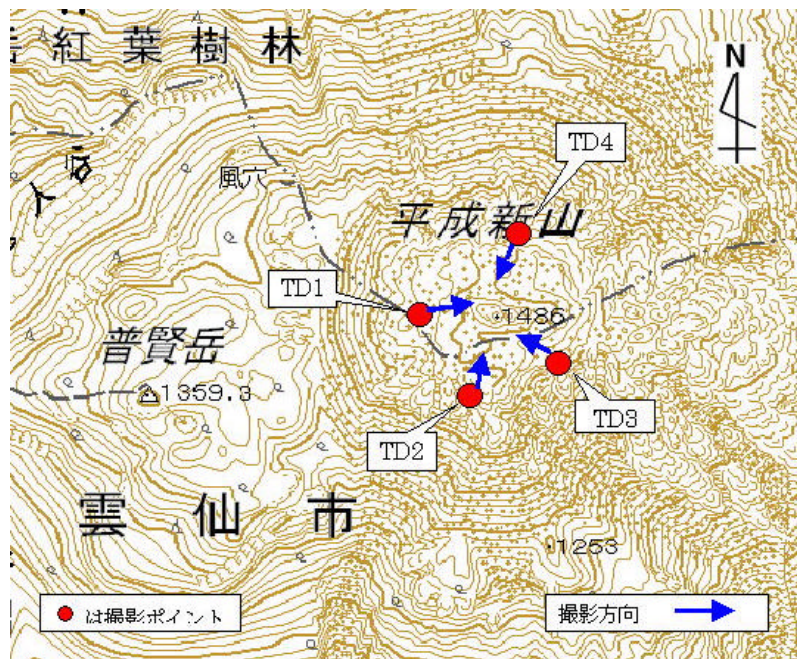


図4 熱映像観測点位置図

国土地理院の承認を得て、同院発行の2万5千分の1の地形図を複製したものです(承認番号:平17総複、第650号)。

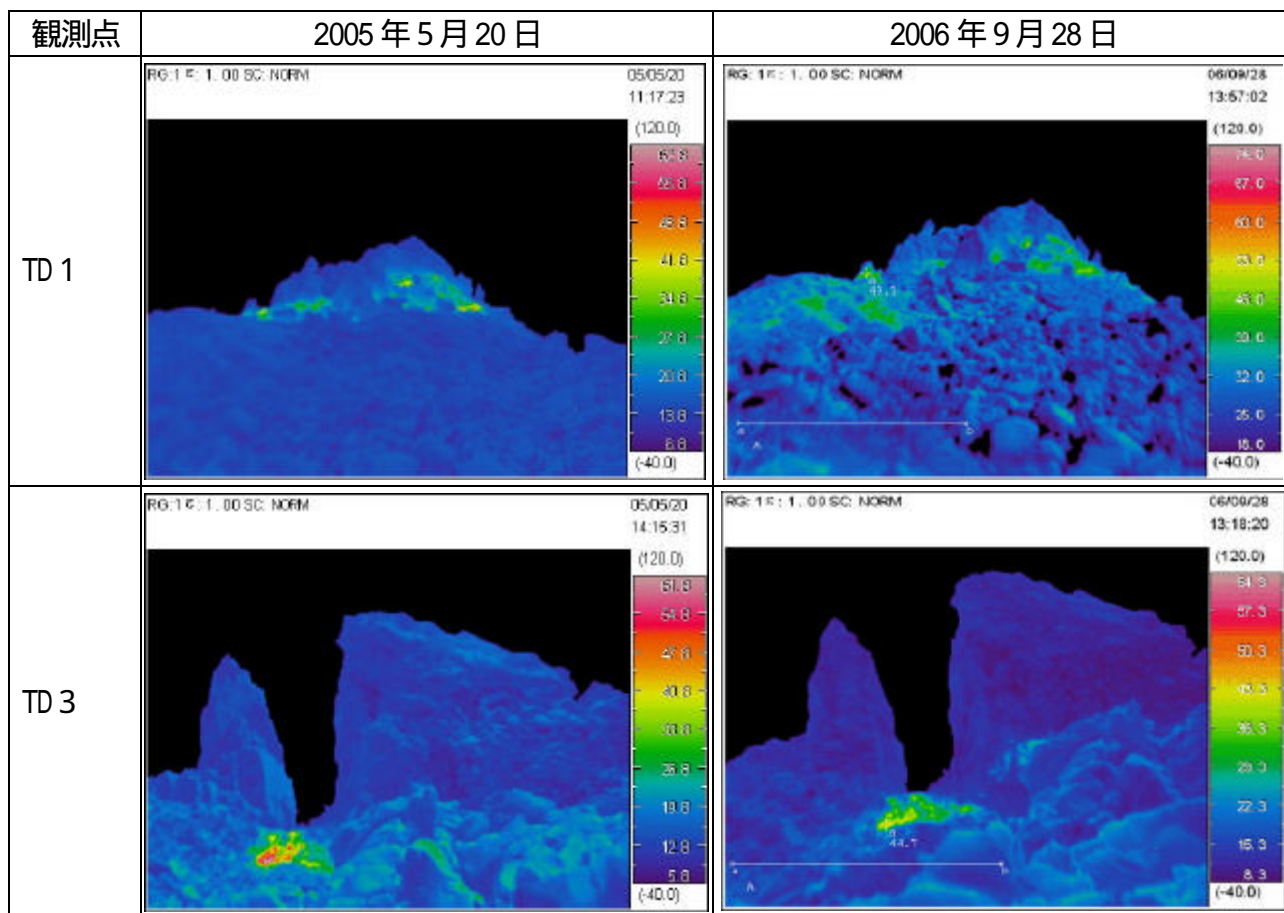


図5 平成新山の熱映像(TD 1及びTD 3の定点から観測)

前回(2005年5月)と比べ、熱異常域の分布や表面温度に大きな変化は認められませんでした。

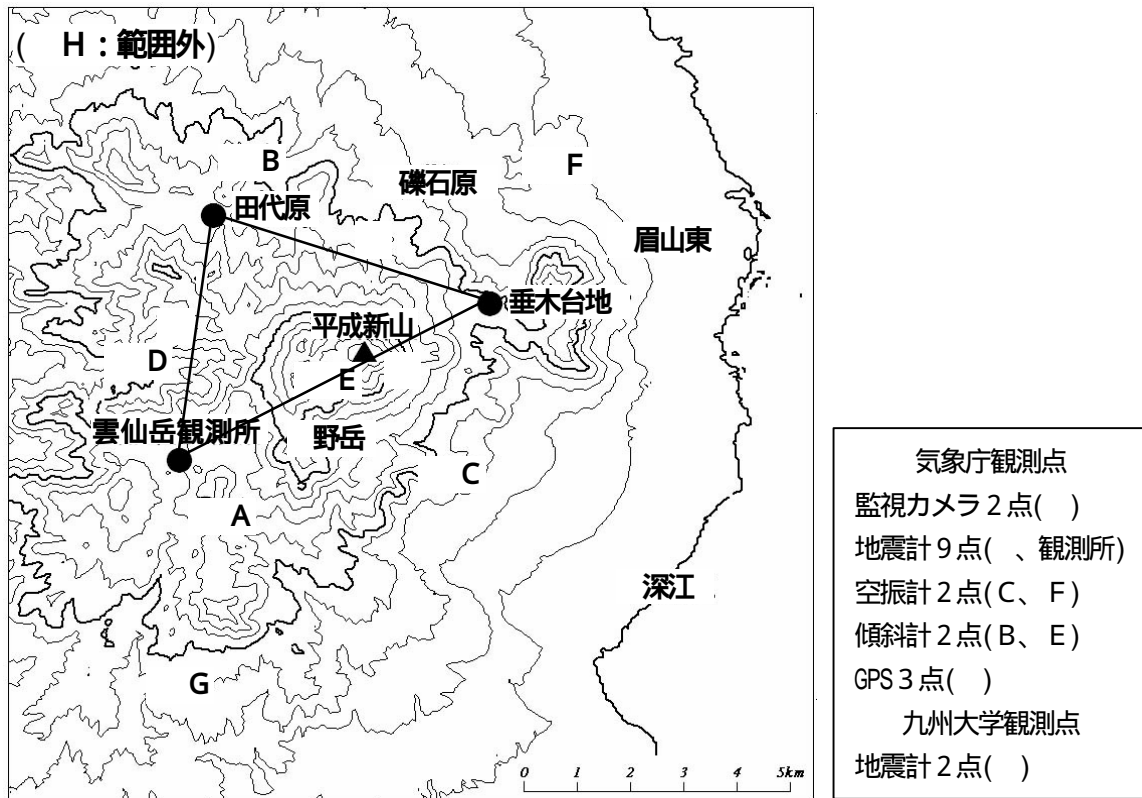


図6 観測点位置図